トムス　ハイパーブレーキキット　フロント

このたびは、トムスハイパーブレーキキットフロント（以下ブレーキキットフロント）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取付けを以下に記します。正しい取付けをお願いいたします。本取付け説明書は、「自動車整備技能検定３級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。

【適応車種】　本製品は以下の車種に対応しています。（２０１０年９月現在）

トヨタランドクルーザー（ＵＺＪ２００Ｗ）　2007(Ｈ19)年９月～2009(Ｈ21)年４月
トヨタランドクルーザー（ＵＲＪ２０２Ｗ）　2009(Ｈ21)年４月以降

【取付け上のご注意】　以下のご注意を必ず守るようお願いいたします。

１．本製品装着の際、ブレーキフルードエア抜き作業をする必要がありますが、通常のエア抜き方法と異なりＳＳＴ（ＴａＳＣＡＮ等）が必要です。ＳＳＴを使用しない場合や正しいエア抜き作業をしない場合、制動力が不足し障害や事故につながる場合があります。エア抜き方法の詳細はトヨタ販売店サービスにお問い合わせください。

２．脱着部品の締め付けは、必ず規定トルクで締め付けてください。ボルトのゆるみなどは重大事故の原因となります。

３．車両をジャッキアップ後は、必ずリジットラック等にて確実に車両を固定してください。

４．取付け後走行した後に、ボルトの緩みや、ボディとの干渉をチェックしてください。ボルトのゆるみなどは重大事故の原因となります。

５．走行前の仕業点検時にブレーキパッドの摩耗量を必ずチェックしてください。通常のブレーキシステムに比べ、パッドの摩耗時期が早い場合があります。

６．パッドの温度が冷えている走行開始直後は制動力が不足する場合があります。

７．本製品を装着した場合、「キーキー」もしくは「グッグッ」という音が発生したり、ブレーキダストが増加する場合があります。性能向上のためご了承ください。

８．本製品を装着した場合、純正を含めて装着するホイールの形状によって、干渉の恐れがあります。事前に必ずキャリパーの逃げ図面をトムスウェブサイトよりダウンロードしてご確認ください。（http://www.tomsracing.co.jp/product/brake-hyper.htm）

９．本製品を装着した場合、車載のスペアタイヤが使用できなくなる恐れがあります。市販のパンク修理材などをご用意ください。

１０.本製品を装着する際には加工・修正及び改造は行わないでください。

１１.本製品を装着する際にはブレーキシステム内部にダスト等の小片を確実に除去してください。

【構成部品】　本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい。

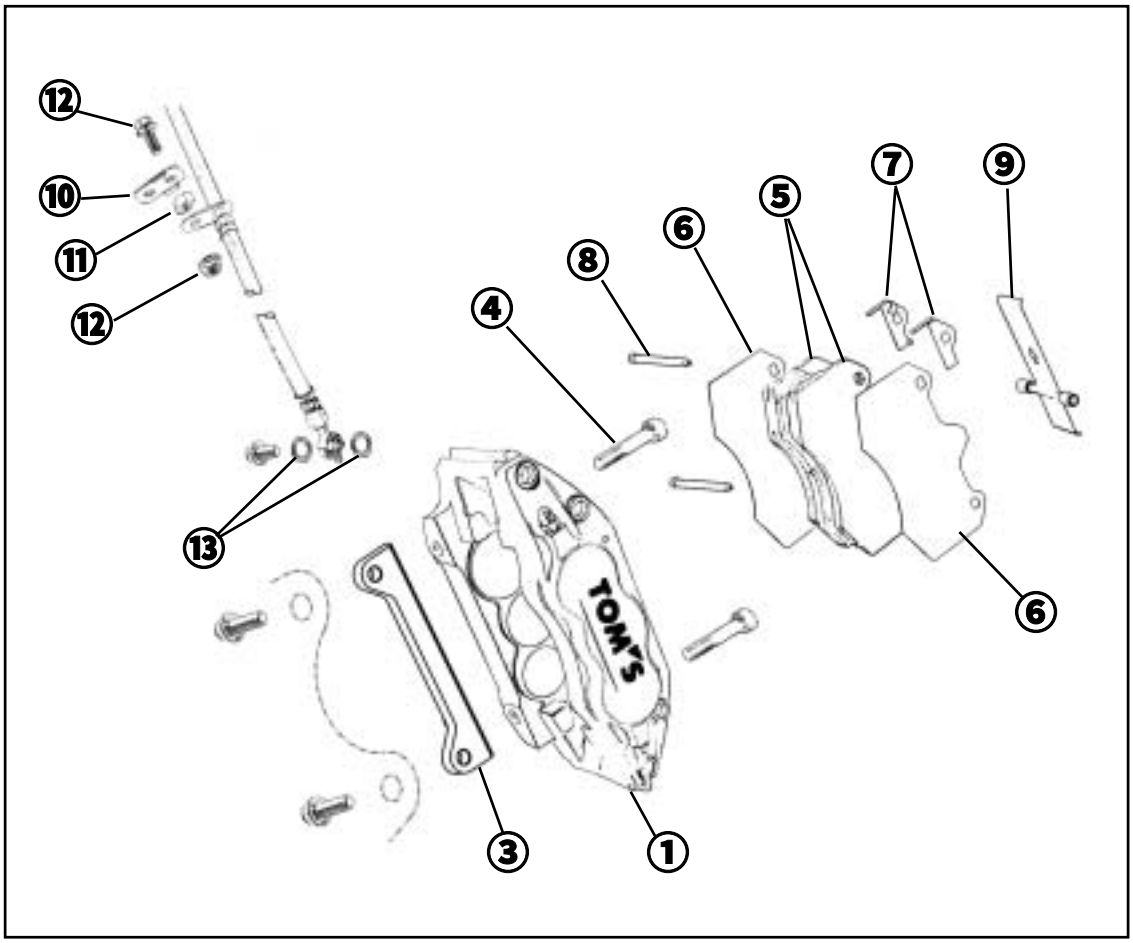
①	ＦｒキャリパーＡＳＳＹ（R/L）	各１	⑦	ブレーキパッドアジャスター	×４
②	ブレーキローター（R/L）	各１	⑧	パッドピン	×４
③	キャリパーブラケット（R/L共通）	×２	⑨	アンチラトルスプリング	×２
④	Ｍ１２ボルト（①取付け用）	×４	⑩	ブレーキホースブラケット	×２
⑤	ブレーキパッドフロント	×４	⑪	ホースブラケットスペーサー	×２
⑥	アンチスキールシム	×４	⑫	Ｍ８ボルト・ナット（⑩取付け用）	各２

【準備品】　作業前に以下のものを準備してください。

⑬　フロントフレキシブルホースガスケット（トヨタ品番４７３８９－５００２０）　×２
⑭　ブレーキグリース　適量
⑮　ブレーキフルード　適量
⑯　ＴａＳＣＡＮセットまたはＳ２０００　（トヨタ品番０９９９１－７０３００または相当品）

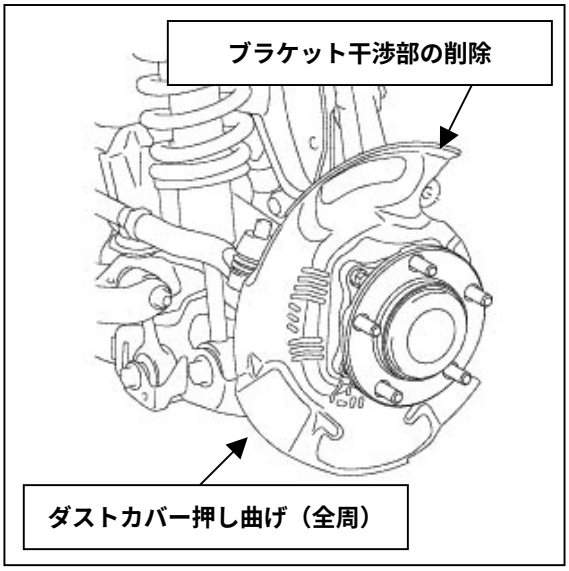
【構成部品図・組み付け図】

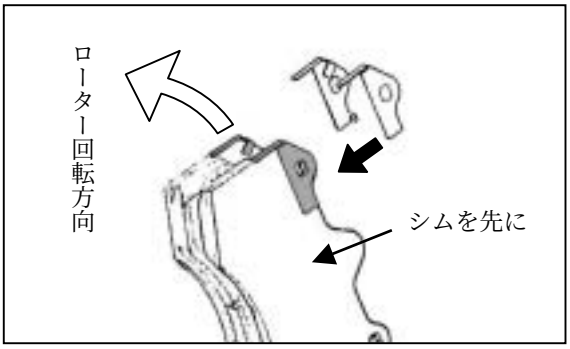
※　②ブレーキローターを除く。

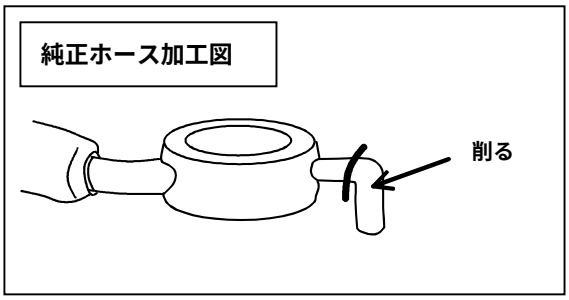


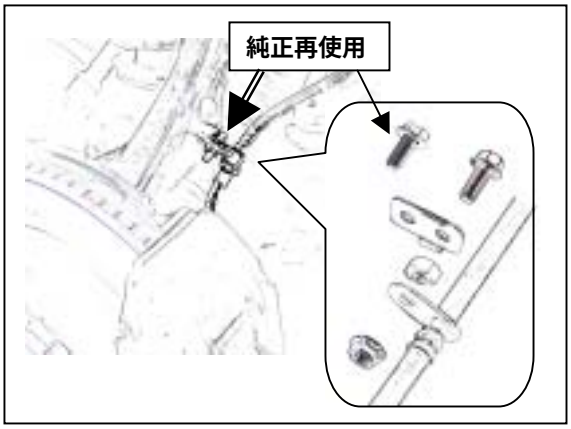
※　上図は弊社ブレーキキットの代表形状を示し、同梱の部品とは形状が異なる場合があります

【取付け方法】









1　純正ブレーキホースおよびフロントキャリパー・ローターはずし

(1) ブレーキフルード抜き取り
(2) フレキシブルホースの中間止め部分のボルトをはずし、ホースをはずす（再使用する）
(3) ユニオンボルトおよびガスケットをはずし､フレキシブルホースをディスクブレーキシリンダＡＳＳＹ(キャリパー) から切り離す (ガスケットは新品に交換する)
(4) ボディ側のクリップ､ユニオンをはずし､フレキシブルホースを取りはずす（再使用する）
(5) ボルト２本をはずし､フロントキャリパーをはずす
(6) フロントローターをはずす

2　トムスブレーキキット取付け（構成部品図・組み付け図を参照のこと）

(1) ③キャリパーブラケットを、はずした純正ボルトでアクスルに取付ける
⇒ **干渉するダストカバーを部分削除し、タッチアップで防錆する**
⇒ **締付トルク** 135N･m(1377Kgf･cm)
(2) ②フロントローターのＲH/ＬHを確認し、仮止めする
(3) ダストカバーをフロントローターと干渉する部分を押し曲げて隙間を調整する
⇒ **ローターとダストカバーは全周において５㎜以上隙間を確保する**
(4) ①キャリパーを④Ｍ１２ボルトで取付ける
⇒ **締付トルク** 127N･m(1300Kgf･cm)
(5) キャリパーに⑧パッドピンで⑤ブレーキパッド、⑥アンチスキールシム、⑦パッドアジャスター及び⑨アンチラトルスプリングを取付ける
⇒ **パッドとシムの間に準備品⑭ブレーキグリースを塗布する**
⇒ **ピンは確実に挿入すること（ピンポンチなどでたたき、確実に入っていることを確認する）ピンがはずれた場合、重大事故につながる場合があるので確実に挿入する**
⇒ **スプリングは矢印マークをローター前進時回転方向と同じにする**
(6) はずした純正フレキシブルホースの

回り止め部分カットする（左図参照）

⇒ **切り粉がフレキシブルホースに入らないように十分注意する**

⇒ **防護めがねなどを使用し、安全に十分留意すること**

(7) 純正ボルトを再使用して⑩ブレーキホースブラケットを取付ける（左図参照）

⇒ **締付トルク** 20N･m(204Kgf･cm)

(8) 準備品⑬ホースガスケットを使用し、純正フレキシブルホースをブレーキキャリパーに取付ける。ホース中間止めは、⑪スペーサー挿入し、⑫Ｍ８ボルト・ナットで取付ける（左図参照）

⇒ **キャリパー側締付トルク**

39N･m(400Kgf･cm)

⇒ **中間止め締付トルク**

19N･m(189Kgf･cm)

⇒ **取付けは取りはずしと逆手順でおこなう**

⇒ **キャリパーへのホース取付けは、上方から垂直に取り回す**

⇒ **フレキシブルホース取付けの詳細は該当車両修理書を参照のこと**

(9) ブレーキエア抜き作業をする

⇒ **エア抜き作業の詳細は該当車両修理書を参照のこと**

【補給部品】

末永く安定した性能を維持できるよう、定期的なメンテナンスをお願いします。
必要に応じ当社より販売の、下記補給部品をご活用ください。

1、ブレーキパッドフロントセット（アンチスキールシムを含む）

品番：04496-TAP06-W1

2、パッドアジャスターＲ／Ｌセット

品番：04946-TAP06

3、専用オーバーホールキット（６ポット用）

品番：04497-TAP04

4、アンチラトルクリップ

品番：47748-TAP06

5、パッドピン

品番：47735-TAP06

消耗部品の交換要領は、各補給部品に付属の説明書をご参照ください。
なお、キャリパー本体の脱着作業など、本説明書との併用が必要な場合があります。
本書はいつでも確認できるよう、ユーザー様のお手元にて保管をお願いします。

【発売元】株式会社　トムス
東京都世田谷区等々力６－１３－１０
ＴＥＬ　０３－３７０４－６１９１